

## 第4回 聖籠町屋内遊び場整備に関する調査検討委員会 議事要旨

日 時	令和6年5月17日（金）19：00～20：15
場 所	聖籠町役場3階 大会議室
出席委員	宍戸委員、青木委員、佐藤委員、小林（蘭）委員、高松委員、吉川委員、渡辺委員、田中委員、星野委員、吉村委員、赤塚委員、中山委員、遠藤委員、小林（笑）委員
欠席委員	森田委員
事務局	高橋総合政策課長、小林総合政策課長補佐、宮下主幹、小林主事、萩原総務課長、佐藤子ども教育課長、宮沢社会教育課長
次 第	1 開 会 2 議 事 （1）アンケート結果の報告について （2）今後の方向性の検討について（案） 3 事務連絡 4 閉 会

### 要旨

議事 （1）アンケート結果の報告について

○ 事務局から資料1に沿って説明。

委 員 アンケート結果の自由意見では、複合型施設や道の駅を作ってほしいといった意見もたくさんあったなかで、老朽化する地場物産館の改修と屋内遊び場を複合型施設の建物として整備することは可能か確認したい。

事務局 町は、地場物産を一つの産業観光施設として考えており、複合型施設という考え方もあると思うが、スペース的に難しいところもあるため、現状では地場物産館と屋内遊び場は別々に考えている。

委 員 別々ではなく合わせた検討は可能か。

事務局 課題はあるが、委員会として町に意見として提案は可能と考えている。

委員長 地場物産館がどの程度の大きさなのか次回報告してほしい。

委 員 アンケート結果について、町民の皆さんの多種多様な意見に驚いた。年代別で見ると20代、30代、40代の方は「検討して欲しい」、「作ってほしい」という意見が多い反面、50代、60代の方からは「本当に作る必要があるのか」、「こんな無理しなくていい」など、厳しい意見が目立つが、全ての皆さんの意見を踏まえた検討は難しいため、7割以

上の町民の方が「整備すべき」という意見であるため、整備の方向で進めるべきと感じた。場所については、過去の委員会でも質問したが、地場物産館はどうなるのかと、プラント4の駐車場に屋内遊び場を建てることは可能なのか伺いたい。

委員長 プラント4や地場物産館、駐車場の所有者は誰なのか。

事務局 地場物産館の敷地は町が所有している。他の駐車場は町ではないため、基本的には購入する必要があるが売ってくれるかどうかはわからない。また少し離れたロッテリアの奥はホテルを建てる話が出たことがあるため、難しい気はする。そのため現状ではスペースが狭く厳しい状況である。

委員 ロッセリアの対面の広いスペースを指しているのか。そこにホテルの話がでたというが、町が買い取るという話はあるのか。

事務局 その予定はない。

委員 いずれにしても、既存施設でも良いが、スペースが問題なのであれば地場物産館の建物の高さを上げることでクリアできると思う。また、聖籠町は駅がないため、どこがメインストリートなのかよくわからなく、アンケートの中でもバイパスを降りた近くが良いという意見もあるため、町民だけではなく、近隣市町村の方が来れるようなものがあれば良いと感じたため、検討していきたい。

委員 このアンケートの中で反対意見が伝えていることは、財政圧迫を懸念しての反対であり、圧迫するから改修といった意見だったと思う。そのため、本当に改修した方が財政負担を軽減できるのか、それとも新設のほうが長い目で見れば負担が少ないのか。改修の場合でも冷暖房の入替などで新設とほとんど変わらないのであれば、新設であっても町民の皆さんも納得するのではないかと。町は、改修のほうが予算削減されると考えているのか。

事務局 既存施設の改修費用や新設の場合の費用については、今後の委員会が必要になる情報である。改修も新設も同額となり、新設とした場合は町に施設が1つ増えることになるため、維持管理経費がかさんでくる。その辺も踏まえながら検討して頂きたいことから、改修又は新設した場合についての費用は現在準備している。

委員 予想通り賛成と反対の意見があったが、改修施設として要望が多かった多目的屋内運動場は個別意見を見ていくと、「自分の地区」として捉えているのが見られる。質問であるが、8ページの「その他の内容」は問12の回答「その他」の8人の意見がそれだけあったということで捉えてよいか。

事務局 8人の意見としては多いため、次回委員会までに確認し報告する。

委員長 町として屋内遊び場施設という言葉は町長や幹部職員が、これ以前に

何らかの形で公式に示したことがあるか。

事務局 議会で示したことがある。また、町は様々なアンケートを実施してきたが、その中で遊び場を望む声が多いことから、町として取り組んでいきたいと議会で表明させていただき、この委員会発足に至っている。

委員 少子化のご時世のなか、聖籠町は家族形態は2世帯が56%、3世帯が18%であったが、若い世帯の転入が増えている等、増え方をどう分析しているのか。

事務局 聖籠町は比較的若い人が転入してきているが、人口としては出生率も関わってくる。他市町村と比較すると羨ましいという状況と考えるが、人口は現状維持で推移しているという状況である。

委員長 現状維持とはいえ、若い世代が減ってはいない。県内の自治体と比較しても若い世代が減る、又は少ないところは多く、聖籠町は若い世代に支持されている自治体という印象を持ったところである。

委員 プラント4駐車場に以前あったファンタジードームはどういう施設だったのか。町が運営していたものなのか、もしそうであれば、なぜこれは無くなってしまったのか。

事務局 プラント4の前の長崎屋と一緒にオープンした民間が運営する屋内の遊園地で、中にジェットコースターやゲームセンターがあり、敷地もかなり大きく、聖籠病院側のロッテリアのある駐車場の土地の半分くらい。20年くらい前におそらく経営難で撤退していて、約10年間程度の運営だったと思う。あの施設を知る町民はすごくいい施設だったとして、アンケートを取るたびに復活してほしいという意見が多い。

委員 そういった施設が潰れたということは、工夫していかないと駄目なのかと思う。当時はファンタジードームにどういった交通手段で行かれていたのか。親と一緒にないといけないものだったのか。

事務局 ゲームセンターもありお金も結構かかるため、親が連れて行っていたと思う。土日は混んでいたが、平日は閑散とした状況であったと感じる。

委員 次回からのワークショップの前提条件について、例えば既存施設の改修でも、条件を無制限とした場合は魅力のあるすごい施設として話が出るかもしれない。そういった前提条件があるのか、それとも白紙から話し合うのかどうか確認したい。

事務局 今回のアンケート調査を踏まえながら、委員会として自由意見を出して頂きたい。それをもって最終的に町が判断していくことになるため、皆さんには意見をどんどん出していただきたいと考えている。

委員長 第1回委員会では、委員会の意見は屋内遊び場の新設も含めたゼロベースで検討することを確認しているが、今回のアンケート結果を踏まえ、委員の皆さまの意見を基にワークショップで検討することとなる。

委員 将来にわたる財政負担について、物価高と言われているこのご時世の

中で財政負担が増すと言った場合、人の心理的にやめた方が良いとなる。例えば新設の場合の財政負担はどれくらいかなど、細かい部分もしっかり把握していきたい。

事務局 現在、改修費の試算をしている。また、新設の場合は借金をしないと建設が難しく、借金の返済額や期間も町の財政運営としては重要なものとなる。施設が冷暖房完備となると光熱水費はもちろんのこと、人件費などの維持管理費も考慮すべきところであるが、検討のなかで、維持管理費を軽減できるアイデアがあればご意見いただきたい。あとは補助金の活用やクラウドファンディングで建設費の寄附を募りたいと考えている。

委員長 議論が具体的なものとなるよう、新築の場合と改修の場合の建設費の試算やランニングコストについて次回委員会には出してほしい。

事務局 アンケート結果で一番意見が多かった多目的屋内運動場をベースに、業者に試算を依頼中のため、次の委員会までに出したい。

財政負担の話もあるが、委員会としては、どういうものを建てたら将来の町の子どもたちや、聖籠町にとって良いか。いい子育てができるのか。地域の活性化など、それらの観点に重点を置きながら、考えていただきたいと考えている。財源については、町としては補助金やクラウドファンディングなどの手立ては講じていきたいと考えているため、この場では皆さんの思ったことをぜひ声に出していただきたい。

## 議事（２）今後の方向性の検討について（案）

### ○ 事務局から資料２に沿って説明。

委員長 ワークショップにおけるファシリテーターは誰がやるのか。

事務局 事務局でグループは分けさせて頂くが、そのグループの中でファシリテーター役や発表役などを皆さんで話し合い決めていただきたい。各グループには町職員がサポートとして入るが、あくまで裏方のため自由なご意見をいただきながら、進めていただきたい。

委員 ワークショップ形式で検討する４つの項目について、例えば最後の規模や内容のところは漠然である。対象年齢や営業日、営業時間など、そういったものをどこまで求めるのか。フォーマットなどがあると楽である。

事務局 たしかに漠然であるため、事務局で検討したい。

委員長 ワークショップのため、グループの主体性もあることから、決められるところがあったら決め、詰めきれなかったら、その中で発表するのも良いと考える。議論すべき内容や詳細について誘導されるよりも、各グループで決めてよいと思うが、もちろん、事務局のサポート支援も必要

となる。

まずは次回委員会をやってみて最後に意見を伺いたい。その中でその次に向けた改善点があれば、その次の委員会までに対応していきたい。

委員 この委員会の結果を踏まえ令和7年度予算で動く場合、改修や新設どちらの場合であっても最短で着工はどのくらいになるのか。

事務局 施設の規模によるが、令和7年度予算で設計や補助金の調整をおこない、早くて令和8年度着工ではないかと考えている。

委員長 私の感覚としては、国の補助金となると、令和7年度予算で設計、令和8年度に補助金が入り本体建設工事に着手し、早ければ令和9年4月グランドオープンのイメージをもっている。

## 事務連絡

事務局 次回は6月21日、6月28日、2週連続で夜7時から2時間を限度に委員会の開催を予定している。非常にタイトなスケジュールで皆さんに負担かけるが、よろしく願いたい。

以上